

研究名：

急性期脳梗塞の血液試料を用いた、急性期脳梗塞の炎症、栄養、免疫、凝固状態に関する研究

研究の目的

脳梗塞にかかると突然体の機能が不自由となり、今までの日常生活を送れなくなることがあります。重症の場合は寝たきりになってしまうことも稀ではありません。これまで、脳梗塞の原因や予防、診断や治療について膨大な研究がなされ、明らかになったことも多くあります。この臨床研究は、血液から測定される末梢血、生化学、免疫、凝固データに注目して脳梗塞の成因や症状、予後との関連を調べるものです。

研究の方法

脳梗塞で入院された時に実施した血液検査データ、脳梗塞の重症度、予後の指標、年齢、性別、血液検査、画像検査、電気生理学的検査などの情報をカルテから収集して、その意義を解析します。入院時に行われる血液検査は脳梗塞の成因や合併症の評価のために健康保険で認可されている項目を用います。そのため、この研究は通常診療の範囲内で行われます。個人名は匿名化しデータが外部に漏れないように細心の注意をいたします。研究期間は2020年1月20日～2021年3月で、患者さんの対象となる期間は2014年4月～2021年3月、解析期間を含む総研究期間は2020年1月20日～2022年3月です。

付記

この研究に参加を希望されない場合はお申し出下さい。参加を拒否することで皆様に不利益が生じることは決してありません。本研究は本学医の倫理審査委員会の審査を受け学長の許可を得ています。この研究についてのお問い合わせは下記連絡先をお願いします。

担当者：泉 哲石（奈良県立医科大学 脳神経内科）

連絡先：0744-29-8860（奈良県立医科大学 脳神経内科）